

いわで
岩出市

さくら



うぐいす



うばめがし

HPアドレス <http://www.city.iwade.lg.jp/>

根来寺・大塔(国宝)

市名の由来

岩出は、むかし「石手」と書きました。「石手」は、「巖出」のことで、紀ノ川の南北兩岸に奇巖^{きがん}がつき出していたので、その名が起こったといわれています。1726(享保11)年藩^{きょうほう}の命により改めて「岩出」の文字を用いるようになりました。

市章の由来

岩出市の漢字の岩を図案化したものであり、図の円形は岩出市民の和と団結を意味し、両方のつばさは、市がどんと発展することを願って表したものです。

市の紹介

岩出市は、紀ノ川^ぞ沿いの豊かな穀倉地帯^{こくそう}にひらけたまちで、大阪府や和歌山市のベッドタウンとして人口増が著しく2006(平成18)年4月1日市制施行を果たしました。現在は、岩出市の有利な立地条件や豊かな自然、歴史・文化など恵まれた資源を生かし、新しい岩出市の創造に努めています。

岩出市には新義真言宗総本山根来寺^{しんぎしんごんしゅうねんざうじ}があります。根来寺は、1130年、宗祖^{しゅうそ}かくばん上人^{しやうにん}が高野山^{たいてんぽう}に大傳法院と密厳院を創建したのが始まりと言われています。室町時代の末期の最盛期には、僧侶^{そうりよ}の住まい2,700余り、領地72万石を数え、根来衆と呼ばれる自衛のための僧兵1万余りをもつ勢力に発展しました。朱と漆^{うるし}がカモシダすコントラストが美術品として高い評価を受けている根来ぬりは、当時の山内で僧侶が食器類や仏具のぬり物を自分たちで作っていたものです。また、根来の子守唄^{うた}、根来鉄砲隊^{てつぽう}、根来寺能など伝統芸能も有名で、市民の手により保存継承活動が続けられています。

また、根来寺の近くにある和歌山県植物緑花センターは、パノラマ花だんやわんぱく広場など様々な施設と四季の自然が楽しめるネイチャーランドなどがあり、家族連れでにぎわっています。

緑花センター北側の「根来山げんきの森」は、自然を見るだけでなく、様々な体験学習ができる森林公園で、公園内にある展望台からは岩出市を一望できます。



岩出市立岩出図書館